



「福岡町つくりもんまつり野菜一式飾」の展示について

国立民族学博物館では、「日本の文化」の展示場を再構築し、3月22日から「祭りと芸能、日々の暮らし」コーナーを開設する。その中で、「祭礼における民族的な造形文化」の枠として、「福岡町つくりもんまつり野菜一式飾」が展示される。

1 展示場所

国立民族学博物館 2階 第5展示場
(大阪府吹田市千里万博公園 10-1)

2 展示期間

平成 25 年 3 月 22 日 (金) から 約 10 年間展示予定

3 展示作品の概要

- ・福岡町つくりもんまつり野菜一式飾

作品名：「蘭陵王」(らんりょうおう) (大きさ：250cm)

「蘭陵王」の舞楽装束を着装し、龍頭を模した舞楽面を着けて優雅な音色に合わせて力強く舞う姿を製作。製作者は福岡町つくりもんまつり実行委員会。

※福岡町つくりもんまつりの概要

秋の収穫を祝い五穀豊穰に感謝する 300 有余年の伝統をもつ「つくりもんまつり」の伝承と、地域の農作物の生産・販売の普及振興、地域住民のコミュニティの育成と推進を図る。毎年 9 月 23 日・24 日の 2 日間開催。

4 その他

「祭礼における民族的な造形文化」の枠の展示作品 (3点)

- ・富山県高岡市 「福岡町つくりもんまつり野菜一式飾」 / 「蘭陵王」
- ・島根県出雲市平田町 「平田一式飾の陶器一式」 / 「弁慶と牛若丸」
- ・熊本県山都町 「矢部八朔祭の大つくりもの」 / 「守護神仁王」